

第19回 仙南地域の農業農村めぐり

平成30年9月18日（火）



主催 水土里ネットせんなん
水土里ネットしばた
協力 宮城県大河原地方振興事務所



9月18日（水）、柴田町立柴田小学校4～5年生の14名を対象として、『仙南地域の農業農村めぐり』が開催されました。

これは、近年の都市化の進展などにより農業に接する機会が減少している子供たちに、農業農村を身近なものと感じてもらい、土地改良区（水土里ネット）の役割を理解してもらうことを目的として大河原管内の土地改良区が持ち回りで主催し開催しているものです。

19回目を迎える今回は、水土里ネットせんなんと水土里ネットしばたが主催となり、子ども達は、柴田町内のほ場や農業用水施設、農産物加工施設の見学をとおして、自分たちが住む地域の農業や土地改良区について広く学習しました。

※「水土里ネット」…「土地改良区」の愛称

農業農村めぐり行程

- ① 槻木地区大区画ほ場
- ② 四日市場排水機場
- ③ 水土里ネットしばた
- ④ 葎神堰頭首工
- ⑤ 農事組合法人下名生ファーム（農産物加工施設）

大区画ほ場「槻木地区」

槻木地区の大区画ほ場を見学し、「ほ場整備」について学習しました。子ども達は、ほ場の大きさに驚きながらも、整備によるメリットやパイプラインの仕組み等、真剣に話を聞いていました。

柴田小学校の校庭の約87倍！
大きいなあ・・・！



柴田町土地改良区（水土里ネットしばた）

土地改良区では、実際に職員の方々が働いている姿を見学し、改良区の役割等を学習しました。言葉で聞くだけでなく、実際に働いている場所を見ることで、子ども達の理解も深まったようです。その他、農業農村のもつ多面的機能についても学びました。

四日市場排水機場

四日市場排水機場ではポンプやエンジン、操作室を見学しました。エンジンをかける実演も行われ、大きな音に驚きながらも、今日一番の盛り上がりを見せていました。操作室では、モニターで管理している映像等も見ることができ、貴重な体験となりました。



大きなポンプ
に興味津々！

菰神堰頭首工



川などから田んぼへ水を引くことを「かんがい」といいますが、ここでは、その仕組みについて学習しました。この菰神堰頭首工は、堰で川の水をせき止めて水かさ高くすることで、田んぼへ水を引きやすいように作られています。

農事組合法人下名生ファーム農産物加工施設

今年5月に完成した、「柴田ぜいたく味噌」等をつくらしている加工施設を見学しました。

子ども達は、みその原材料である大豆や麴(こうじ)を実際に見て、みそができるまでの過程を学びました。

「柴田ぜいたく味噌」は、柴田小学校の学校給食にも使われています。



閉会式

天候にも恵まれ、無事、学校に到着しました。今日一日の感想発表も行い、貴重な経験になったようでした。



5年生が代表で
感想発表！

今回は、事前授業も行い柴田町内の水田から排水機場、頭首工など、柴田町の農業の仕組みを学びました。

子ども達は、初めて見るものや普段は入れないような場所に入るなど、興味津々で見学していました。

また、農業農村がもつ多面的機能についても学習した子ども達。クイズ等も出題しながら楽しく理解を深め、今回の経験で、農業・農村の大切さをしっかり学んだようです。